

協働事業に関する企画書

団体名 ジョイスタディー

1 事業名	「ひとりひとりに寄り添う学習支援事業」ジョイスタディー
2 事業の詳細	小中高校生への学習の補習 ～少人数または個別指導 不登校の児童生徒への支援 ～必要に応じてカウンセリングも含む 特別支援の必要な児童生徒への支援 ～保護者と教師の学習指導法の研究・研修 保護者への教育相談・カウンセリング ～必要に応じて随時。無料 教育講演会 ～特別支援教育や不登校の児童生徒への対応
3 実施体制	小中高校生への学習の補習～日・火・水・金 特別支援教育の必要な児童生徒への支援 不登校児童生徒への支援 保護者への教育相談・カウンセリング～随時 教育講演会～1～2回/年 研修～2. 3回
4 役割分担	【提案団体の役割】 小学生・中学生への学習の補習 不登校の児童生徒への支援 特別支援教育の必要な児童生徒への支援 保護者への教育相談・カウンセリング 【市の役割】 広報 資金援助 情報提供(教育講演会講師・不登校児童生徒) 相談
5 協働の効果	① 協働により近隣の学校に広報することができるので、本当に手を差し伸べるべき子どもを見つけやすい。② 教育センター等公の教育相談機関に地理的、時間的に通いにくい立場にいる児童、生徒が、安心して利用できる。③ 金銭的にバックアップが得られ、事業が安定する。
6 事業のアピールポイント	① 低費のために、低所得者でも通うことができる。 ② 少人数のために、きめ細かい指導ができる。 ③ 指導者はリタイアの教員中心でベテランである。 ④ 熱意のある青年教師もいて、中高生の学習の補習ができる。 ⑤ 県の上級カウンセリングを受講したスタッフがいて、児童と保護者の教育カウンセリングをすることができる。 ⑥ 教会の空き部屋を借りるために、運営資金を抑えられる。 ⑦ 遠くまで講演を聞きにいけない近隣の人たちに情報を提供できる ⑧ 賛同者を募り、法人化をめざし、事業の安定をはかりたい。〈展望〉